

様式第4のトの2 (第4条、第5条関係)

積載式移動タンク貯蔵所（移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した
危険物の運送に関する規程に定める基準に適合するもの）構造設備明細書

| | | | |
|---|--------------|---------|-------------------|
| 車名及び型式 | | ① | |
| 製造事業所名 | | ② | |
| ③ 危険物 | 類別 | | |
| | 品名 | | |
| | 化学名 | | |
| | 比重 | | |
| ④ 移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合していることを承認した国名（機関名）及び承認番号 | | 国名（機関名） | 承認番号 |
| ⑤ 緊結装置 | 緊縮金具 | 有 ・ 無 | |
| | U ボ ルト | 材質記号 | |
| | | 引張り強さ | N/mm ² |
| | | 直径、本数 | mm ・ 本 |
| ⑥ 消火器 | 薬剤の種類 | | |
| | 薬剤量 | kg | kg |
| | 個数 | 個 | 個 |
| 備考 | ⑦ | | |

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

積載式移動タンク貯蔵所構造設備明細書 【様式第4のトの2】

- ① 「車名及び型式」欄は、タンクを固定又は積載する車両のシャーシメーカーの名称及び車検証に記載された型式を記入する。
- また、単一車もしくは被けん引車及び積載式もしくは積載式以外の別を記載すること。
- (例) ○○自動車 XYZ-1234A 単一車(積載式以外) 等
- ② 「製造事業所名」欄は、車両にタンク等の艀装を行い、移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入する。
- ③ 「危険物」欄は、当該移動タンク貯蔵所に貯蔵が予定されるすべての危険物について、次により記入する。
- a 「類別」及び「品名」は、それぞれ貯蔵するすべての危険物の類別及び品名を記入する。ただし、類別・品名が多数となり、当該欄に記載しきれない場合は、別紙のとおりと記入し別紙一覧表を添付する。
- b 「化学名」は、貯蔵する危険物の化学名を記入する。ただし、ガソリン等の石油製品など通常化学名が用いられない物品にあつては、通常用いられている名称を記入する。
- (例) ガソリン、軽油、灯油を移送する場合
- 【類別】第4類 【品名】第1石油類、第2石油類 【化学名】ガソリン、軽油、灯油
【比重】0.75、0.85、0.80
- ④ 「移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合していることを承認した国名(機関名)及び承認番号」欄は、タンクコンテナに係る海上輸送に責任のある各国政府機関又はこれに代わる機関の許可書等の写し等に明示されている承認国名、機関名及び承認番号を記載する。
- ⑤ 「緊結装置」欄は、次により記入する。
- a 「緊締金具」は、緊締金具(すみ金具)の有無について記入する。
- b 「Uボルト」の「材質記号」は、Uボルトの材質をJIS規格番号又は材質記号を記入する。
- また、「引張り強さ」は、当該材質の公称の値を記入する。
- c 「Uボルト」の「直径、本数」は、直径はネジ山の谷径を、本数はUボルトの個数を記入する。
- ⑥ 「消火器」欄は、当該移動タンク貯蔵所に設置した消火器について次により記入する。
- a 「薬剤の種類」は、粉末、二酸化炭素等の消火薬剤の種類を記入する。
- b 「薬剤量」は、一の消火器の薬剤の量を薬剤の種類ごとに記入する。この場合、同種類の薬剤で一の消火器の薬剤量が異なるときは、それぞれ別の欄にその量を記入する。
- c 「個数」は、「薬剤の種類」及び「薬剤量」の記載内容に応じた消火器の個数を記入する。
- ⑦ 「備考」欄は、保温若しくは保冷装置を設ける等又は不燃性ガス封入等の設備を有する特殊な構造の移動タンク貯蔵所である場合は、その旨及び最大積載重量等を記入する。